

2019.8.1 (木)
第5回例会
(通算 3558 回)

2019-2020年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「CONNECT！ロータリーをよく知って より大きい輪をつくらう！」

第83代会長	天方 智順	例会日	毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
副会長	後藤 公貴	例会場	釧路センチュリーキャッスルホテル
幹事	松井 聖治	事務局	釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
編集責任者	クラブ会報雑誌委員会	☎	0154-24-0860
		☎	0154-24-0411

2019-2020 年度
国際ロータリーテーマ



2019-2020 年度 RI 会長
マーク・ダニエル・マロニー
第 2500 地区ガバナー
吉田 潤司 (釧路 RC)

月間テーマ	会員増強・新クラブ結成推進月間
本日のプログラム	新入会員対象者を迎えて (担当: 会員増強委員会)
次週例会	これからの「携帯電話」～5Gを中心に～ (担当: プログラム委員会)

- ロータリーソング: 「君が代」「奉仕の理想」
- ソングリーダー: 菅原 淳君
- 会員数 98 名
- ビジター なし
- ゲスト 4 名
- ニコニコ献金

天方 智順君・・・灼熱の九州でトンネル工事の現場視察をして来ました。暑かったです。
高橋 徹次君・・・日本顎咬合学会北海道支部支部長に就任いたしました。

今年度累計 82,000 円

会長の時間 天方 智順 会長

皆さんこんにちは。先週末から結構いい天気が続いていて、昨日・今日は本当に暑いくらいで、体調を崩されている方いらっしゃるかどうか分かりませんが、どうかお気を付けください。



最初に、北海道新聞の菅原さん、これ、すごく上手いですよね。何かされたのですか。入会して一番上手いなど思いました。ぜひとも講座を作って皆さんに伝授していただければと思います。

先週末に全道中学親善硬式野球釧路大会が行われました。第7分区主催でございますが、当クラブからは池田優委員長が率います青少年委員会が担当して、多くの皆さんで会を盛り上げ、セレモニーもございましたので多くの皆さんで参加させていただきました。結果は釧路のチームが優勝することになり、本当に良かったなと思っております。

「今時の」と言ったらおじさんの枕詞ですけども、近頃の中学生は本当に体格がよろしくて、見ていたら

180 オーバーの方もいらっしゃいますし、お尻がすごいのですよ。パワーヒッターみたいなすごい腰回りの方もいます。何よりも皆さん本当にありがとうございました。来年もまたあると思いますのでぜひともご協力をお願いしたいと思います。

今日は会員拡大ということでございます。ひとつ、音別クラブの話させていただきたいと思います。先日、ガバナー補佐公式訪問・表敬訪問でお見えになりました横山会長が仰っていたと思います。

現在、音別クラブは 18 名だそうです。音別の地域人口、旧音別町の行政のくくりで言いますと、今は 1,800 人位しかいらっしゃらないそうです。そういう地域人口の中で 18 名の会員がいる。単純計算しますと 100 人に 1 人がロータリーメンバーになることとなります。これを釧路市にはめますと 17 万人として釧路クラブは 1,700 人。

今、そういうことにもなりませんので。何よりも音別クラブさんを私も表敬訪問でおじゃましていただいた時に、いろんな活動内容を知りました。地域に根差して本当に活動されているクラブだだと思います。要するに会員数が少ないからと卑下することもなく、きちんとしたロータリー活動をしていれば、そのクラブは良いクラブなのじゃないかなと思います。

全く反対のこと申します。現在、お手元にある例会案内の一番下に会員数 98 名と出ております。今日、いらっしゃった 4 名の方、すべて入会されると晴れて三桁に乗ることができます。なにとぞ入会に向けて前向きに検討されることを望みます。皆さん、お若いですね、やはり。まだ、とある違う会に在籍中の方もいらっしゃいます。何とか来年くらいに、まだまだ若い人もいらっしゃいますけど、入会をしていただければ本当にありがたく思います。今日は釧路クラブが良いクラブだという話を、これからの例会の中で皆さんのスピーチからあると思います。前向きに入会を検討していただくようお願い申し上げます。会長挨拶とさせていただきます。今日もよろしくお願ひいたします。

■本日のプログラム■
新入会員対象者を迎えて

会員増強・選考・職業分類委員会

高橋 徹次委員長

皆さん、こんにちは。会員増強・選考・職業分類委員会の高橋でございます。今回は新入会員候補者を迎えてということで、4 名の新入会員候補者の皆さまに例会に出席いただいております。4 名の皆さま、ご多忙の中を例会出席いただきまして、ありがとうございます。

国際ロータリーの D・マローニー会長も、そして吉田潤司ガバナーも、天方釧路ロータリー会長の活動方針の中にも、すべての活動方針に「会員拡大」が掲げてございます。やはりロータリーの良さを知っていただくためにも、そしてロータリーの活性化のためにも、新入会員に入ってくださいロータリーの輪を広げていくことは非常に大切なことだと思っております。

一方で、ロータリーには卒業はないと言われております。この釧路ロータリーでも 50 年以上在籍されている方もいらっしゃいますし、また数年、1 年目の方もいらっしゃいます。私も 4 年前くらいに入会させていただきました。入会させていただいて良かったなと本当に思っております。いろんな方と触れ合えて、いろんなことをお話できて、ロータリーの輪のひとつの中に入れていただけて、本当に幸せだったなと思っております。

そういった意味で今例会では、10 年以上会員されています会長経験者の方から入会 2～3 年の方の 4 名の方にロータリーについてお話をいただいて、新入会



員候補者の皆さまのロータリー入会への一助になり、そして積極的な入会をお待ちしていることを念頭に置きまして、この例会を開催させていただきたいと思ひます。

本日、1 日どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

吉田 秀俊会員

皆さんこんにちは。本日は「新入会員対象者を迎えて」という内容の例会ですが、対象となっている皆さんにはお忙しい中ご出席を頂き誠に有難うございます。私は釧路 RC に入会して今年で 21 年目になりますが、入会して 5 年目で幹事、そして 15 年目に会長という重責を経験させていただきました。ただ「ロータリーについて」というテーマで皆さんにお話しできるほどの知識や経験を持ち合わせておりませんので、皆さんに RC をどこまで理解して頂けるか一抹の不安はありますが、10 分程度お付き合いを願ひたいと思ひます。ただ会員の皆さんにとっては既にご承知の内容かと思ひますので、おさらいの意味でさっと聞いて頂ければと思ひます。



まず初めに RC の歴史と組織についてその概要を説明し、その後で釧路 RC についてのお話をさせていただきます。

最初の RC は 1905 年にアメリカのシカゴで誕生しました。当時のシカゴは著しい社会経済の発展の陰で商業道徳が欠如しており、それを憂いたポールハリスという青年弁護士が友人 3 人と語らって「お互いが信頼できる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係に発展するような仲間を増やしたい」という趣旨で RC という会合を考えました。ロータリーという名称は集会を各自が持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

シカゴ RC が誕生後、その理念に賛同して各地で RC が誕生し、現在では世界で 200 以上の国と地域に広がり、クラブ数は 36000 余り、会員数は 120 万人以上に達しており、その集合体を国際ロータリーと称しております。

国際ロータリーは 530 余りの地区に分かれており、それぞれの地区からガバナーと呼ばれる統括責任者が選出されます。ガバナーは国際ロータリーの役員として、一年間国際ロータリーの方針を地区内で実施するという役割を担っております。

職業倫理や職業奉仕という観点からスタートした RC の活動は、その後社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕等様々な分野に奉仕の輪を広げ、今では世界最大の奉仕

団体へと成長しました。

国内で最初のRCは1920年に誕生した東京RCですが、現在は日本全体でクラブ数は2261、会員数は89000人余りに達し、国際Rに於いても日本の地位は揺るぎないものとなっております。

日本は北海道から沖縄まで34の地区に分かれ、北海道には二つの地区が存在します。北海道は東西で半分に分かれており、私たちの地区というのは東は根室・西は清水・南は広尾そして北は稚内・利尻礼文と非常に範囲の広い地区であり、国際ロータリーでは2500地区と定義されております。2500地区には約2300人のロータリアンが在籍していますが、2500地区は地域ごとに8つの分区に分かれ、釧路RCは第7分区に属しております。第7分区には釧路市内の6クラブと音別・白糠を合わせて合計8つのクラブが有り、310人余りのロータリアンがそれぞれのクラブで様々なロータリー活動を実践しております。

一度聞いただけではなかなか覚えきれないかと思いますが、ここまでがロータリークラブの歴史と組織の概要説明で有ります。

次に私たちの釧路RCについてお話をさせていただきます。釧路RCは1936年に創立し全国で26番目、全道で7番目という歴史と伝統を有するクラブで有り、天方会長は84代目の会長であります。現在の会員数は98名で先ほど説明した2500地区内67クラブの中では最大のクラブで有ります。

釧路クラブでは今迄様々な事業を展開してきましたが、継続事業として「高校生のアイスホッケー大会」また「中学生の硬式野球大会」を主管しておりますが、数年前からどちらも第7分区の主催事業としてグレードアップしております。

また80周年の記念事業として台湾の「台北中央RC」と姉妹クラブの締結をし、様々な形で往来を重ねながらお互いの絆を深めております。もう一つの記念事業として、市内の小中学生を対象に「数学検定」が無料で受けられるという奉仕事業を実施しましたが、予算の都合上残念ながら今年が最後の年となります。4年間という短い実施期間であります、子供たちの学力向上に大きく寄与出来たのではないかと考えております。

今迄お話したように釧路クラブとして様々な社会貢献事業を行っておりますが、私が最も感銘を受けているのが「嵯峨記念育英会」

という奨学金制度の存在です。経済的に恵まれない高校生に対し、勉学費用の一部として毎月一万円を助成する制度です。毎年3・4名ほどの生徒が対象となりますが、3月には卒業生そして5月には新入生が例会に出席して、感謝の言葉と将来の抱負を語ってくれます。この例会は私自身大変楽しみにしており、今ではすっかり錆びついてしまった純真さと呼び起こしてく

れますので、何時も清々しい気持ちで例会場を後にすることが出来ます。皆さんはまだ純真さを失ってはいないかと思いますが、この例会は是非体験してほしいと思っております。

「嵯峨記念育英会」という奨学制度を有しているクラブは釧路クラブ以外には殆ど無いと聞いておりますので、クラブの一員として誇りに思いますし、これからも継続して行くべき制度であると強く感じております。

また今年度は釧路クラブから17年ぶりに2500地区のガバナーを輩出しています。RCの会期は7月1日から6月30日までの1年間ですので、この間釧路クラブは様々な会合や大会を主管することになります。

現在ガバナーは地区内の67クラブを公式訪問中であり、この公式訪問は9月末まで続きますので、今月中に入会されますとガバナーに随行できるという特典がついております。なかなか経験できることではありませんので、極力早めの入会をお進めします。

ただRCに入会するには会員の推薦が無ければなりませんし、入会してからはロータリアンとして果たさなければならない3つの義務が有ります。一つ目は会費の納入義務、二つ目は例会への出席義務そして三つ目はロータリーの情報誌である「ロータリーの友」を購読する事ですが、決して難しい義務ではありませんのでご安心ください。

RCに入会すればロータリアンとして全世界120万人以上の仲間と友人に成れる機会が得られます。そして全世界の例会や会合にも参加できます。特に来年の六月にはハワイのホノルルで世界大会が開催されますので一緒に参加できればと思っております。またRCを通して様々な奉仕活動に参画することもできます。分区内や地区内だけでなく、発展途上国への奉仕活動も可能であり、過去には釧路クラブとしてタイやブータンへの奉仕活動も行っております。

今迄お話したように、RCに入会することによって多くの特典を得ることが出来ます。特に釧路クラブには多種多様な会員が在籍しておりますので有意義なロータリーライフを経験出来るものと確信しております。皆さんが一日も早く入会されますことを心からご祈念申し上げます、私からの話を終わらせて頂きます。

樋口 貴広会員

皆さん、こんにちは。ただ今、紹介いただきました樋口と申します。私は2010年の7月1日入会で丸9年、今は10年目に入ったところです。

私も入会の前、たしか1年位前でしたが、今日と同じような例会がありまして、ゲストとして出席した記憶があります。その中でどんな話があったか、誰がい

たか、全く記憶はないのですが出席したという記憶だけはいまだに残っております。

私が入会したきっかけなのですが、たまたまのタイミングのようなものでした。私ども当社の会長が義理の父ですがライオンズクラブ入っております、「俺もライオンズだからお前もいずれライオンズだな」とそう言われていました。



何があったか分かりませんが、数年後のある日に、「俺はライオンズだからお前はいずれロータリーだな」と変って、そういう話を始めた直後に、今は公式訪問で行っています吉田潤司さんがうちの会長とはずっと昔からの知り合いだったので、会長を尋ねて来まして、「樋口君、ロータリーにどうだろう」と。すごいタイミングを計ったかのように言い始めた途端に、そこで「あぁ、そうだな。そうしよう」とポンポンと入会が決まりました。吉田潤司さんより他のロータリークラブのどなたかがうちの会長のところに来て話をしていたら、今ごろ私は違うクラブにいたのではないかなと思っております。

私がロータリーに入会したのですが、いま本当に良かったと思っております。ひとつ目は、たくさんの方々と知り合えたことです。もちろん仕事上では、いろいろなお付き合いがあるのですが、ロータリークラブでは全く仕事の普段関係していない方、また全然経験が違う方々と知り合うことができました、いろいろな考え方や意見を聞く事ができて、非常に勉強になっております。

もうひとつ、良かったことは、いろいろな経験ができることです。大きなクラブですので、この100名のクラブの運営も経験させていただきました。先ほど吉田パスト会長からありましたが、野球大会、アイスホッケー大会などの運営にも関わってきました。また、現在はガバナーという、少し分からないかもしれませんが非常に大きな役職・重要な役職を受けている方のいろいろな事務のことをやらせていただいております、非常に勉強になっております。

入って正直失敗したなどと思うことは、一生懸命やり過ぎたかな、と。真面目にやり過ぎたから、常に毎年結構面倒な役割が当たってきて、ここは、もし入られたら“そこそこ楽しんでやるくらいが丁度良い”のではないかなと思います。

最後になりますが、当然、ロータリークラブに入ると時間も取られますし、正直お金もかかります。それぞれ皆さんの都合がありますから、何が何でも入って下さいとは言いませんが、もし、今後、ロータリーク

ラブにしる、ライオンズクラブにしる、「何かに入る」という話になった場合は、釧路ロータリークラブをお勧めします。これは間違いなく自信を持って言えることだと思います。

他のロータリークラブでは、「釧路クラブは大変だ」、「よく釧路クラブで幹事やったね」と言われますけど、絶対そんなことはなく非常にやり易いクラブだと思います。そういった場合には釧路クラブに入会されるのがいいのではないかと思います。私からは以上です。

佐藤 貴之会員

皆さん、こんにちは。私は、今から3年前の3月に入会しまして、丸3年が経ちまして、今4年目を過ごさせていただいているのですが、皆さんにロータリーについて教えられるような立場でもないですし、そこまでロータリーのことをやった記憶もあまりないので、こんな上から偉そうなことは言えないのですが、



経験談をお話させていただければと思っております。

私が入会した時は、イオン昭和のテナント会の絡みで、当時のイオンのテナントさんだった会長・副

会長から両脇を挟まれて逃げられない状態にされた時に「ロータリークラブに入れ」と3年前の1月新年会の時に言われて、こんな親切な場にぜんぜん呼ばれたことはなく、次の2月に北海道のイオンの新年会がありまして、そこに行った時に入会届が用意されておりました。私は1月の段階でお断りした記憶があったのですが、入会する形になった次第でございます。

正直、私はラーメン屋なので、入会する時は迷いました。「ロータリークラブに職業の差別がない」と皆さんは言われておりますが、私的には身分相応というか、周りの方と比べるわけではないですが、それなりに職業選択しないといけないだろうというのがありました。当時のスポンサー2名の方には「そんなこと一切ない」みたいな問答無用の形で入会させられた記憶がございます。

入会したら、皆さんがウェルカムな、すごく温かい感じで迎えていただいたことと、入る前は敷居が高いと思っていたのですが、入会したらそこまで敷居が高くないというか、みんなフレンドリーに話しかけてくれて。変な意味じゃないですよ。

私は入会した当時「ラーメン屋」と言われていました。皆さん、ご記憶ありますでしょうか。ある程度接していくうちに、釧路クラブ以外にも釧路管内のクラブでもロータリアンでラーメン屋さんあまりいないの

です。特殊な環境なのかなと考えておりました、やっぱり「ロータリアンにふさわしいラーメン屋になろう」と決意しました。

入る時は、「ほどほどに出て、ほどほどに休むのが良いよ」と言われていましたので、私もそうしようと思っておりましたが、いろんな方と話していくうちに、これはしばらくしっかり出席しないといけないなと思いつつ、丸3年経って今年も「例会出席 100%」をいただいたことです。それから「佐藤君」と名前を呼ばれるようになったという思いがあります。「ラーメン屋」というのも悪い意味ではなく、下から見ている、嫌みがあるということではなかったのですが、最近、名前を覚えていただいたのかな、最近認められたのかな、というのが正直でございます。

あとは私、ラーメン屋というのはお昼商売していますので、この例会に出席するのがどうしても大変だったという中で、以前もお話したことあると思いますが、私はロータリークラブに入る前はストイックに「絶対、平日以外は休むなよ」とアルバイトや従業員みんなに話していました。

当時、1年目の親睦活動委員会の委員長で、現・後藤副会長なのですが、「土曜日、厚岸で野遊会があるから何とかして来い」と言われて。「来い」は、私がそう受け取っただけで、言い方は「来れないかい」という感じだったのです。ロータリーに入るということは、そういうことなのだということを意識して、今では私の会社は社員もアルバイトも含めて土日祝日関係なく有給を取れるようにしました。そこがやっぱりロータリーに入って3年前から、うちは「働き方改革」をロータリアンになったおかげでやった。そんな意味でもロータリアンらしいラーメン屋ではないかなと思っている次第でございます。

以上の感じで終わりたいと思います。ありがとうございます。

杉浦 裕之会員

皆さん、こんにちは。手短かにまいりたいと思います。今、ご紹介いただきました東京海上日動火災に務めて



おります杉浦と申します。昨年5月に入会させていただきました。1年3カ月が経過いたしました。皆さまにどれだけ覚えていただいたかは分かりませんが、

私にとりましてロータリークラブは、地元経済を支えていらっしゃる経営者の皆さまと触れ合うことができる絶好の機会だと捉えております。

損害保険の世界はご契約時に社長の皆さまとお会い

することはなかなかなくて、総務担当の方と手続きする機会が多いのです。どうしてもトップに会いたいと思った時に、ここに来ればすぐに会えますという理由でございます。そういう人脈であれば他のクラブも一緒かもしれませんが、やっぱり釧路ロータリークラブが一番かなと思っているところがございます。

それは、入会間もない時なのですが、私みたいな人見知りで控えめな者がおとなしくしていると、「どこから来たの?」とか「どこどこに行った?」と、皆さん温かくお声かけをしていただきました。それで何とか早く打ち解けることができたのかなと、今振り返ると思っています。ですので、毎回の例会出席、イベントの出席は本当に楽しみで、私も昨年、出席数では全部出席したことで靴磨きセットをいただきました。

ロータリークラブ以外にも私も通勤族の会合等がありまして、そこには他のクラブに入っているメンバーもいます。そういうメンバーと交流していると、いろんな話を聞きます。多くは申し上げませんが、釧路ロータリークラブが一番良いなと思っております。それは通勤族と地元経営者の皆さまが上手く融合してお互い高め合っている、そんなクラブではないかなと思っております。

ぜひ、本日お越しの入会候補者の皆さんにおかれましては、また、ぜひお会いできることを楽しみにしております。選ばれるのであれば、この釧路クラブかなと思っておりますので強くご推薦申し上げます。私のお話と代えさせていただきます。どうもありがとうございました。

Return
to
Top

Return
to
Web Site